

# ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャの思い受け継ぎ世界へ 世界青年のつどい成功めざす全国交流ニュース

[2006年7月15日 No.15]

発行: 第2回世界青年のつどい準備委員会 電話03 5842 6035 FAX03 5842 6033  
URL [http://www.geocities.jp/youth\\_against\\_nukes/index\\_jp.html](http://www.geocities.jp/youth_against_nukes/index_jp.html) Eメール [youth\\_against\\_nukes@yahoo.co.jp](mailto:youth_against_nukes@yahoo.co.jp)

## 世界大会に参加したい人が大半 東京大学

7・9首都圏大集会の成功を契機に神奈川でバスツアーの取組みが進んでいます。

### 平和擁護委員会に50人参加

**東京** 「非常にわかりやすい説明で参加したくなった」。7月10日、東大駒場キャンパスで06年度第3回平和擁護委員会が行われ、各クラスから1人選出される平和擁護委員が50人参加。



感想を述べる昨年の参加者

日本原水協の前川史郎さんが世界大会と世界青年のつどいについて話し、昨年の世界大会参加者からの感想と今年の参加予定者からの決意表明がありました。「小学校の修学旅行で広島に行ったことを思い出した」「非常に大きな共感を覚えた。自分もいずれは平和の維持に貢献したいので、役立つ講演だった」「原水爆禁止世界大会の意義には新しい認識を得た。以前、現代社会を勉強した時にもこの大会にふれたことがあるので興味を持ってもっと理解したい」「被爆者の話を聞けるいい機会だとわかったので参加してみたい」などの感想が寄せられました。また、世界大会に参加したいかを問うアンケートには、大半の人が参加してみたいという回答を寄せました。

### 被爆者の体験を聞く会を企画

**神奈川** 「原子力空母くるな! 7・9首都圏大集会 in 横須賀」を大成功させた神奈川の青年たちは、パレードに200人が参加。「原子力空母を受け入れる横須賀市はおかしい。住民のことをもっと考えてほしい」(20歳・学生)など、「一言カード」で思いが寄

せられました。

翌10日には「ものもうすツアー」として防衛庁・内閣府・外務省・アメリカ大使館に12人で訪問。「原子力空母は安全、と米側が言っていますので...」との官僚の説明に、「ホントにアメリカいいなり。もっと青年の声を集めて政治を変えたい」など怒



横須賀基地が見下ろせる丘から説明を  
受ける参加者(7月9日、神奈川)

この盛り上がりを広島につなげようと、世界大会バスツアー実行委員会が立ち上がり、この連休に各地で「被爆者の体験を聞く会」などが開かれます。

『被爆者の話しを「他人事」じゃなく聞いて、いろんな人と学びあいたい』

(横浜北東・学生Hさん[19歳])

#### 初参加者の思い

広島には行ったことがないし、前から「戦争のことを深く学びたい」と思っていたので、参加することにしました。被爆者の話を聞きたいです。自分は戦争を経験してないか



ら「他人事」として聞いてしまわないように、いろんな人と交流しながら学びあいたいです。

(かながわバスツアー実行委員会ニュース第1号より)